

# 令和2年度 事業報告

## 1 総括

令和2年度は、年初から続いている新型コロナウイルスの影響により、事業の縮小又は先送りを余儀なくされたものの、当協議会のプラットフォーム機能の発揮による千葉県経済の活性化を念頭に、会員提案による事業の創出と自走化、会員間の連携・協働などを促進し、各種事業を展開した。

継続事業では、コロナ禍及びアフターコロナを見据え効果的な取組を目指し、成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業（「航空／空港関連企業との商談会」、「訪日客等へのおもてなし食プロジェクト」等）や、県・市町村が行う地方創生関連事業と連携した事業（「地方創生と連動したDMO養成塾」等）を中心に取り組んだ。

また、新規事業として、空港利用者にコロナ検査を提供し、“安心して移動できる環境”を創出する「空港利用回復事業」に取組み、空港利用者数の回復の後押しを図った。

## 2 事業の概要

### (1) ビジネス支援事業

#### ○ CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進

##### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

千葉県が主催するCHIBAビジコンへの協賛・授賞を通じて、起業家に対し成田空港を活用した新規ビジネスの可能性を示し、新規事業創出の機運を醸成する。

本年度は、昨年度同様、成田空港を活用したビジネスの発展性、地域経済への活性化効果などの観点から授賞プランを選定し、副賞として当協議会主催セミナーでの事業紹介の機会を贈呈した。

- ・成田空港活用協議会賞受賞者:株式会社さつまいもの石田農園

専務取締役 石田 湧大氏

- ・受賞プラン:「日本一の、最高級の芋を生み出す技術が新たな市場を作る」

- 成田空港周辺は、サツマイモの県内有数の産地であり、本プランにより、空港周辺地域の広域的な特産品開発・特色（魅力）づけに期待できる。一方、昨年度同様、当協議会の活動目的と合致する応募プランが多くなかったため、次年度以降の協賛については、検討を要する。

## ○ アクティビティ（体験型）商品開発

### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

訪日外国人向けアクティビティ（体験型）商品開発の公募とモニターツアーの実施により、県内へのインバウンド誘客に繋がる新たな商品展開を目指す。

本年度においては、前年度モニターツアーを実施した会員に加え、新たに参加会員を選定したうえでモニターツアーを実施し、ツアー結果を踏まえた商品の磨き上げ等を行った。

なお、新型コロナウイルスの影響により、ツアーの内容や実施回数等は、当初予定から規模を縮小して行った。

#### （１）芝山町（みどりと空のプロジェクト）

実施日：令和２年１１月２５日（水）

行 程：芝山仁王尊、芝山古墳・はにわ博物館、陶芸体験

#### （２）いすみ市（ツーリズムいすみ）

実施日：令和３年３月４日（木）（オンライン開催）

行 程：国吉神社、出雲大社、光福寺、他いすみ市内サイクリング

- コロナ禍でインバウンドの需要環境が激変していることから、社会情勢を踏まえ、商品化に向けた磨き上げを進めていく。

## ○ 航空／空港関連企業との商談会

### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

航空／空港関連事業者と会員を含む県内食品事業者とのビジネスマッチングを行うことで、成田空港を起点とした新しいビジネス（取引）の実現を図る。

本年度は、日本航空株式会社及び全日本空輸株式会社関係先企業、空港周辺のホテルを中心としたバイヤーと県内食品事業者との商談会を開催し、県経済の活性化及び航空／空港関連事業者との取引機運醸成を図った。

成約の後押し及び商談スキル向上のため、専門家による事前研修や個別アドバイスをを行うなど、商談に不慣れな参加者にも安心して参加いただけるよう丁寧な支援を行った。

日 時：令和３年３月９日（火）１０時００分～１６時００分

場 所：ホテル日航成田（成田市取香５００）

参 加 者：バイヤー１９社（２２部門）、サプライヤー５１社

成約件数：１５件（サプライヤー回答※令和３年３月末時点）

- バイヤーのニーズ調査及び商談先の提案など、事前の商談マッチングを強化した結果、過去最大となる194の商談を行うことができた。また、専門家による個別フォローの実施等、参加者への支援を丁寧に行った結果、多くの参加者に好評な意見を頂くことが出来た。

## ○ ランドオペレーターとの商談会

### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

当協議会と千葉インバウンド促進協議会の共催のもと、会員企業、団体及び自治体にランドオペレーターを活用していただくことで、千葉県を訪れる訪日外国人旅行者の増加に向けた魅力的な旅行商品の造成に繋げる。

本年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、ランドオペレーターの参加の目途が立たないことから実施を見合わせた。

- 引き続き、ランドオペレーターの参加状況等を踏まえ、実施を検討する。

## ○ 訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト

### 【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

ベジタリアンやヴィーガンに対応した多様な食事が、県内各地で提供される環境を整備し、誰もが「ちばの食」を楽しめる「おもてなし」を創出することを目的として、県内の飲食店、食品事業者への支援を行う。

昨年度に引き続き、食の制限に対応するためのノウハウの取得や事業化に向けた支援、認知度向上のためのPR活動を行った。

#### (1) ベジアイコンの普及促進

ベジタリアン・ヴィーガン対応製品をわかりやすく表示するため、昨年度新たに『ベジアイコン』を作成したが、今年度は、適合事業者（商品）に対し、無償で提供するなど、アイコンの普及促進を図った。

※ 登録状況：10事業者（44商品）（※令和3年3月末現在）

#### (2) 販売拠点の整備

ベジタリアンフレンドリー商品が広く普及されるよう、協力店舗が販売するに当たり、VMD（ビジュアル・マーチャンダイジング）専門家を派遣するなど支援を行った。

#### 【展開状況】

- ①道の駅多古あじさい館（香取郡多古町多古）（令和2年7月～）
- ②フレッシュマートおおくぼ（成田市吉岡）（令和2年7月～）
- ③そごう千葉店地下1階（千葉市中央区新町）

(令和2年10月～令和3年1月)

### (3) プロモーションの展開

メディアへの掲載やウェブサイト「E a t - t o g e t h e r」での広報等を通じて、プロジェクトの周知啓発に努めた。

#### ①道の駅多古あじさい館における『ヴィーガン定食』等の紹介

・東京新聞(8月11日(火))、千葉日報(8月19日(水))に掲載。

#### ②カフェレス・ジャパンへの出展(令和2年10月5日(月)～7日(水))、パシフィコ横浜)

・日本最大級のカフェ・レストラン専門展である『CAFERES JAPAN』の「ヴィーガンパビリオン」にて、PRを行った。

- 新型コロナウイルスの影響により、当初予定していたセミナー等を中止したものの、プロモーションや事業者支援を積極的に行い、事業の認知度向上等に努めた。
- 活用協事業としては今年度で終了となるため、今後は、会員事業者による自走化を図る。

## ○ 日本遺産等を活用した誘客促進

### **[県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業]**

日本遺産等の地域資源や地域の魅力を活用し、千葉県内の交流人口拡大と訪日外国人旅行客の増加に向けたツアー造成の為にモニターツアー及び誘客プロモーションを行う。

本年度においては、香取市においてモニターツアーを、香取市及び銚子市において誘客プロモーションを実施した。

#### (1) モニターツアー

江戸の歴史を感じながら、町並みや絶景、食を体験する『日本遺産・北総四都市江戸紀行』として、今年度は、伊能忠敬のふるさと「水郷の町佐原」や「紅葉の彩る香取神宮と観福寺」などを巡るツアーを展開した。

#### 《開催概要(香取市)》

日 時：令和2年11月29日(日)

行 程：JR佐原駅⇒東薫酒造⇒忠敬橋⇒さわら町屋館⇒伊能忠敬旧宅⇒橘橋  
⇒佐原商家町ホテルNIPPONIA・レストランLEUN(昼食)  
⇒水郷佐原山車会館⇒観福寺⇒香取神宮⇒道の駅・水の郷さわら

⇒ J R 佐原駅

## (2) 誘客プロモーション

概要：モニターツアーの連動企画として、パナソニックの映像コミュニティ「LUMIX CLUB PicMate」上に特設ページを開設。香取市・銚子市の自然・街並みを映し出したフォトに対し、WEB上で拍手やコメントをしてもらおうユーザー参加型企画を実施した。

期間：令和2年9月10日（木）～12月25日（金）

周知方法：パナソニックサイトやパナソニックニュースリリースなどで展開。  
その結果、大手媒体社（朝日、産経など）を含む32社に掲載された。

実施方法：特設サイトに掲載された「香取市・銚子市」の写真に対し、拍手をしてくれた方の中から抽選で賞品をプレゼントした。

結果：応募総数	3,992人
総PV数	45,160件
総拍手数	33,840件

- 令和3年度は、本年度の開催実績を踏まえ、銚子市においてもモニターツアーを実施し、今後の商品造成を目指していく。

## ○ 地方創生と連動したDMO養成塾

### [県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業]

昨年度に引き続き、地方創生に有効な取組としてDMO（観光地域づくり法人）を核とした本来あるべき組織体制を理解し、持続的な地域経営ノウハウを確立する講座を開催した。

昨年度同様、観光情勢に精通した専門家を総括講師として招聘し、参加者にはワークショップにより見識を深めて頂くとともに、課題を設定し地域としての解決策を見出すことなどに取り組んでいただいた。また、DMO先進地である宮城県気仙沼市への先進事例調査も実施した。

### (1) 臨時会議

日時：令和2年8月18日（火）

講師：株式会社ちばぎん総合研究所 調査部担当部長 小松孝之氏  
成田空港活用協議会 事務局長 澁谷博之

内容：DMO養成塾について

新型コロナウイルスによる地域経済への影響と対応状況

(2) 第2回

日時：令和2年9月10日（木）

講師：JTIC. SWISS 代表 山田桂一郎氏

：観光庁 広域連携推進室長 檜垣敏氏

内容：多様な主体の参加、自主財源の確保と域内の経済循環の確立

(3) 第3回

日時：令和2年12月11日（金）

講師：JTIC. SWISS 代表 山田桂一郎氏

：株式会社インアウトバウンド仙台・松島 代表取締役 西谷雷佐氏

内容：観光資源の磨き上げと受入態勢 ～現状と課題・その解消～

(4) 第4回

日時：令和3年1月20日（水）（オンライン配信も実施）

講師：JTIC. SWISS 代表 山田桂一郎氏

：復興庁 復興五輪推進チーム 企画官 三重野真代氏

：京成電鉄株式会社 グループ戦略課長 林祐悟氏

内容：旅行者目線に立った二次交通等交通アクセスの整備

(5) 第5回

日時：令和3年2月9日（火）（オンライン配信も実施）

講師：JTIC. SWISS 代表 山田桂一郎氏

：観光庁 新コンテンツ開発推進室長 中谷純之氏

内容：専門人材の確保と人材育成によるコンテンツ開発

(6) 第6回

日時：令和3年3月26日（金）（オンライン配信も実施）

講師：JTIC. SWISS 代表 山田桂一郎氏

：観光庁 観光地域振興部長 村田茂樹氏

内容：総括

(7) 先進事例調査

日時：令和2年10月25日（日）～27日（火）

視察先：宮城県気仙沼市

講師：JTIC. SWISS 代表 山田桂一郎氏

内容：気仙沼におけるDMOの取り組みの紹介及び現地関係施設視察

- 参加者の多くが通年継続して講座を受講し、積極的に質問や意見交換する姿も多くみられたことから、有益な学びの機会になったと思料される。先進事例調査では現地関係者の声を直接聞き、マーケティングの重要性や地域の経営能力を高めるための取り組みの重要性を学んだ。

なお、参加者の中には今年度、観光地域づくり法人（登録DMO）に登録される団体もあり、機運醸成に留まらず、自発的な地域経営体制の整備に繋げることができた。

## ○ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客

### **【県・市町村が行う地方創生関連事業と連携・連動した事業】**

成田国際空港を経由する訪日外国人や県外観光客の県内への誘客を促進するため、国立歴史民俗博物館が所蔵する「江戸図屏風」をもとに、ファブリック素材とLEDバックライトを用いた「光る江戸図」を製作し、4言語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応の解説用ICT機器と併せて展示を行う。

昨年度に引き続き、成田国際空港内（出国手続き後エリア）での展示を行った。

### **【実施状況】**

期 間：令和2年3月12日（木）～令和3年9月30日（水）

展示場所：成田国際空港 第2ターミナル 出国手続き後エリア

（「NARITA SKY LOUNGE 和」内）

※現在、新型コロナウイルスの影響により、展示場所は閉鎖されている。（令和3年4月現在）

- 引き続き展示品を活用した県内交流人口の拡大を目指す。

## ○ ユニバーサルツーリズムの促進

### **【東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業】**

オリパラへの対応や高齢者比率の増加を見据え、ますます需要の高まるユニバーサル対応への機運を醸成する。

本年度は、3年間の集大成として、ユニバーサルツーリズムの成長可能性を学ぶことを目的とした、セミナー（勉強会）及びモニターツアーを会員事業者等と連携し実施した。

#### （1）オンラインセミナー

日 時：令和2年11月20日（金）～30日（月）

テーマ：ユニバーサルツーリズムの理解をさらに深めるための講座

内 容：共生社会・超高齢化社会において、観光関連施設は、どこまでバリアフリー対応をしなければならないのか？

講 師：株式会社近畿日本ツーリスト首都圏

ユニバーサルツーリズム推進担当 伴流 高志氏

(2) モニターツアー（オンライン）

日 時：令和3年2月23日（火・祝）16：30～18：00

テーマ：手話でご案内する「エンジョイ館山ツアー」（聴覚障がい者向け）

内 容：VTRツアー＋ウミホテル発光体験（LIVE配信）＋名産品お土産

(3) 事後フォロー勉強会

日 時：令和3年2月24日（水）

場 所：渚の駅・たてやま

内 容：初めての試みとなったオンラインツアーを振り返りながら、ユニバーサルツーリズムの推進と継続に係る意見交換を行った。

- セミナー（勉強会）やモニターツアー等を3年にわたり実施したことにより、ユニバーサル対応への意識啓発や今後に向けた実践意欲の向上を図ることができた。

○ **競技開催地とホストタウンや周辺市町村が連携した情報発信・観光誘客等の促進**  
**【東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業】**

東京オリンピック・パラリンピックの開催機運が高まるなか、成田空港を利用する訪日客に向けて、県内で開催される競技や県内のホストタウンを紹介し、関係自治体の認知度向上を図り、観光誘客等を促進する。

本年度は、昨年度に製作した『ホストタウン紹介映像』を希望する自治体へ無償提供し、各自治体の公共施設等において放映を行った。

- 紹介映像については、引き続きホストタウンへの提供を行い、その活用を図ることとしたい。

○ **空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組**

**【県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業】**



成田空港の機能強化によって、航空機発着容量の拡大に伴い、空港関連企業は、大量の従業員確保を迫られることが予測されている。

本年度は、空港関連企業の雇用確保に向けて、企業と教育機関との意見交換の場を設けることを検討していたが、新型コロナウイルスの影響により、参加者の確保が難しいことから、実施を見合わせることにした。

- 空港関連企業の雇用確保・人材育成は、企業及び教育機関ともに重要なテーマである。雇用分野における課題や問題を共有するための議論の場を提供することは、有益であることから、時期を見計らい改めて実施を検討する。

## ○ 県内観光情報・成田空港の魅力発信

### 【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

WEB等を活用した国内外に対する県内観光情報の効果的な発信及び地域における成田空港の魅力発信を行う。

昨年度に引き続き、訪日外国人の県内誘客のため、多言語対応のWEBサイトでの魅力発信等を行う予定であったが、コロナ禍でインバウンド需要が大きく落ち込むなか、その効果が限定的とみられることから、年度内の実施を見送ることとした。

- インバウンド需要等を注視の上、効果的な魅力発信の方法について検討することとしたい。

## (2) 空港利用促進事業

### ○ 空港利用回復事業

#### 【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

空港会社やエアライン等の関係機関と連携して、キャンペーンをはじめとする各種事業を実施し、利用客の回復を後押しする。

本年度は、コロナ禍で航空需要が低迷する中、航空便の利用及び移動先における感染リスクへの不安を解消するため、成田空港の国内線を運航する航空会社が“安心して移動できる環境”の創出を目的とする「新型コロナウイルス検査」の実施に、連携して取り組んだ。

#### 【展開状況】

実施主体：P e a c h A v i a t i o n株式会社

実施期間：令和3年3月5日（金）～3月21日（日）

（対象となる搭乗便は令和3年3月15日（月）～3月31日（水））

内 容：航空券販売時にオプションとしてコロナ検査を実施する場合に、一部検査費用を負担する。

そ の 他：事業目的に適う取扱いがP e a c h A v i a t i o n株式会社のみであったことから、同社のみを対象として実施した。

- 緊急事態宣言発令中であり、利用件数は多くなかったものの、安心した移動環境づくりの一助になったものとする。

### （3）基本的な取組

#### ○ 要望活動

##### ・首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

昨年度に引き続き、圏央道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を、関係2団体とともに、国等関係先に対して行った。

実施日：令和2年11月12日（火）

要望先：財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官、主計局長、国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、道路局長、財務省・国土交通省幹部職員及び県選出国會議員

同時に要望した関係団体：千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟  
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

#### ○ 会員相互の情報共有

- ・ 協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより、各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。
- ・ 協議会の会員向けにメール等での情報発信を行い、会員間における活動状況や成果の共有を図った。
- ・ 会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。

#### ○ 会員提案の募集・具体化

##### ・ 会員提案の募集

令和3年度事業に係る本県の経済活性化につながる取組として、他の会員との連携・協働により取り組みたい事業の提案及びセミナー等の要望について、募集した。

(なお、会員からの事業提案は随時募集している。)

募集期間：令和2年12月14日(木)～令和3年1月8日(金)まで

提案状況：① 会員からの事業提案(16件)

② セミナー等要望(6件)

③ 自由意見(8件)

#### ・ 会員提案の検討・具体化

令和2年度事業として、以下の会員提案を事業化し実施した。

- ・ CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進
- ・ アクティビティ(体験型)商品開発
- ・ 航空/空港関連企業との商談会
- ・ 訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト
- ・ 日本遺産等を活用した誘客促進
- ・ 日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ・ ユニバーサルツーリズムの促進
- ・ 競技開催地とホストタウンや周辺地域が連携した情報発信・観光誘客等の促進
- ・ 空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組
- ・ 空港利用回復事業

### (参考) 会議等の開催状況

#### (1) 総会(書面開催)

通 知：令和2年度成田空港活用協議会総会(書面議決)について

(令和2年9月2日付け成活第25号)

議 題：(1) 令和元年度事業報告について

(2) 令和元年度収支決算について

(3) 令和2年度事業計画(案)について

(4) 令和2年度収支予算(案)について

(5) 役員の変更について

#### (2) 幹事会

##### 【第1回(書面開催)】

通 知：第1回幹事会の書面開催について(令和2年6月3日付け成活第10号)

議 題：総会の書面開催について

## 【第2回】

期 日：令和2年8月20日（木）

場 所：オークラ千葉ホテル2階ブリストルⅡ

議 題：（1）令和2年度総会について

- ①総会の開催方法について
- ②令和2年度事業計画（素案）の修正について
- ③総会議案について

- ・議案第1号 令和元年度事業報告について
- ・議案第2号 令和元年度収支決算について
- ・議案第3号 令和2年度事業計画（案）について
- ・議案第4号 令和2年度収支予算（案）について
- ・議案第5号 役員の改選について

（2）事業採択案件について

- ①日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ②ユニバーサルツーリズムの促進

（3）その他

## 【第3回（書面開催）】

通 知：第3回幹事会の書面開催について（令和2年10月20日付け成活第36号）

議 題：（1）事業採択案件

- ①空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組
- ②首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

## 【第4回】

通 知：第4回幹事会の書面開催について（令和2年12月14日付け成活第44号）

議 題：（1）事業採択案件

- ①航空/空港関連企業との商談会

（2）選考案件

- ①CHIBAビジコン2020「成田空港活用協議会賞」の受賞者選考について

（3）報告案件

- ①ランドオペレーターとの商談会
- ②会員提案の募集及びアンケート調査への御協力について

## 【第5回】

通 知：第5回幹事会の書面開催について（令和3年2月9日付け成活第60号）

議 題：（1）事業採択案件

- ①地方創生と連動したDMO養成塾の開催（事業変更）

#### 【第6回】

通 知：第6回幹事会の書面開催について（令和3年2月22日付け成活第62号）

議 題：（1）事業採択案件

- ①空港利用回復事業

#### 【第7回】

期 日：令和3年3月19日（金）

場 所：オークラ千葉ホテル3階エリーゼ

議 題：（1）報告案件

- ①CHIBAビジコンとの連携による新規事業創出の促進
- ②アクティビティ（体験型）商品開発
- ③航空／空港関連企業との商談会
- ④訪日客等への「おもてなし」食プロジェクト
- ⑤日本遺産等を活用した誘客促進
- ⑥日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客
- ⑦ユニバーサルツーリズムの促進
- ⑧空港関連企業の雇用確保に向けた教育機関と連携した取組
- ⑨県内観光情報・成田空港の魅力発信
- ⑩首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

（2）協議事項

- ①令和3年度事業計画（素案）について
- ②令和3年度総会次第（素案）について

（3）事業採択案件

- ①航空／空港関連企業との商談会（アフターフォロー）
- ②日本遺産等を活用した誘客促進
- ③日本文化の発信によるターミナル空間の価値向上及び近隣エリアへの誘客